

## ■市民委員会による「市民参加」への意見集約

鑑賞者としての参加	<p><b>子ども</b> オペラ、バレエ、ミュージカル、芝居等(本物)/学校・学年単位での安価な映画会や劇場会/小中学校との連携/子どもたちの教育カリキュラムの一環として公演</p> <p><b>事業の対象</b> 年代を意識した企画/鑑賞者のニーズを調査(ロングテールの時代、シニア・シルバー層の変化に注目)/バリアフリー映画の制作・上映</p> <p><b>市民要望の聴取</b> 市民アンケートに基づくアーティストや劇団の招聘</p>	<p><b>友の会</b> 情報特典/作るべし/市民の比較的容易な参加/会員制として財政的にも事業をバックアップ</p> <p><b>講座</b> 専門家による講座/舞台芸術の歴史/学芸員による絵画・彫刻の鑑賞の仕方/文化人講座</p> <p><b>展示系・美術系事業</b> 多様なニーズ参加のため必要/神奈川県展の巡回展/ホール展示室の企画・運営にも参画/年1、2回の質の高い美術展/松永記念館の学芸員による企画</p>	<p><b>催し物情報</b> お堀端側や駅等への表示(現在は国道 1 号側のみ)/ラスカのアークードの大画面/施設の利用方法やイベントなどの情報の伝達方法の改善/ホールの事業を駅頭で掲示</p> <p><b>その他</b> アウトリーチ/鑑賞団体への支援/野外上映会</p>
参加型事業への参加	<p><b>子ども</b> 子どもエンタテインメント団体の育成/鑑賞とワークショップを組み合わせた事業/手作りアニメーションのワークショップ/子どもたちの参加型事業(現在やっているものをもっと広めたい)</p> <p><b>大学生・高校生</b> 周辺大学生とのコラボ(演劇、音楽等)/日本大学リズム・ソサエティー・オーケストラの定期公演(年1回)/学生対象のワークセミナー/小中高大のクラブ・部活・サークル活動の支援(レベルの向上)/イベント等のおまけを高校生等が制作</p>	<p><b>創造事業</b> ジャンルを問わない市民創作コンテスト</p> <p><b>育成</b> 市民学芸員(美術)の育成/中学生・高校生ボランティアの育成</p> <p><b>対象</b> 中堅世代の参加機会の確保(参加しにくい世代)/若者による公募展</p>	<p><b>その他</b> イベント等のおまけをワークショップで制作/声優講演(一般募集)/サイレント映画に声をつける/NHKのど自慢大会の招聘など市民参加型の音楽の祭典/定期演奏会(年 2 回)のリハーサルに大スタジオを利用/プロの実力のある人がホール主催の市民参加公演を企画(参加者は登録制)</p>
運営への参加	<p><b>サポーターとして</b> 町ぐるみの文化サポーター(商店等を巻き込んでイベントを盛り上げる)/小田原文化サポーターレセプションリストとして各団体の手助け(レセ派遣、チラシ挟み込み代行、影アナ派遣など)/公演のお手伝いをする人、文化をサポートする市民/特定の催し物に協力できると思う(個別事業へのサポート)/「友の会」のような組織の管理/ホームページなどをつくる/今から勉強したい(ワークショップ、研修など)/託児</p> <p><b>バリアフリー</b> 耳が聞こえない人のための字幕作成(緊急時)</p>	<p><b>専門性のある市民</b> レセプションリスト(表方)の育成/「裏方」ではなく「表方」で参加/早い段階で市民の運営スタッフを募集して他施設で育成/参加への啓蒙/地場産素材を使った軽食コーナー又はビュッフェの運営/裏方スタッフに外国語ができる人材</p> <p><b>ルールづくり</b> 既存団体と新しい団体が一緒に使えるための新しいルールづくりが必要/小田原独自のシステム/一般に利用しやすい使用料</p>	<p><b>組織</b>ボランティアの在り方/市民が運営等に参加するには、行政側にプロのマネージメントスタッフが必要/組織運営は黒部市のコーラー倶楽部を参考にしたい</p> <p><b>その他</b> 芸術文化の発生源として問題提言機関を位置づける/ホール建設費・使用料・必要経費等の問題/技術者</p>
事業企画・推進役としての参加	<p><b>子ども</b> ODAWARA わくわくプロジェクト(例:ミュージカルワークショップ、コンサート企画)/子どもたちの夢をはぐくむ事業創成/様々なジャンルの文化創造ワークショップ/未来へのメッセージ、子ども WS、アウトリーチ/「千人太鼓」プロ・アマ・市民が三位一体となって心をひとつにして叩く/子どもを育成する音楽教育(例:少年少女合唱団)</p>	<p><b>育成</b> 製作スタッフの育成/明確な立場をもった「学校(又はその類)」の付設</p> <p><b>小田原らしさ/地域特性</b> 小田原文化ハンドブック(市民文化のデータベース)/地元のアーティスト育成</p> <p><b>講師としての参加</b> 各種教室・講座の講師/市民(プロ)による講座、アウトリーチなど</p>	<p><b>機会の提供</b> まずは大きな事よりも小さな事から/歌・ダンスなど色々な分野で市民講師がワークショップを行い、ステージに上がる体験をする場を設ける/団体などに一定期間、一定空間の全面的なプロデュースの機会を与える/アーティストとお客さんをつなぐ役割(中間支援)</p> <p><b>その他</b> ジャンルを超えた一流のアーティストを呼べる事業運営/最高レベルと草の根レベル(市民)のコラボ企画/カントリーミュージックの祭典&amp;プロデュース</p>
管理者としての参加	<p><b>市民による管理</b> 前庭などの管理/市民ホールを皆できれいにする日(例:清閑亭のお掃除日)/ホールがオフの日でも自由に集えるスペース(市民が管理)</p>	<p><b>管理組織</b> 指定管理でも直営でもやる気のあるレベルの高いところを選ぶ/管理運営はNPO法人に行ってほしい</p>	<p><b>管理に対する責任</b> 管理運営は責任が重い</p> <p><b>舞台技術</b> 舞台技術入門講座(舞台技術のライセンス)</p>
評価への参加	<p><b>課題抽出/改善</b> 比較的簡単な市民参加/その後に生かすことにつながる/イベント後の問題点改善のためフィードバックが必要</p>	<p><b>現状確認</b> ベースライン(現状)の確認/市民の参加状態の確認</p> <p><b>関心を高める</b> 先行する問題として、文化・芸術に関する市民の意欲・感心を高める努力</p>	<p><b>評論活動</b> 市民による文化評論活動(公演等の評論活動、評論誌の発行)</p> <p><b>評価項目</b> 市民による評価(参加希望・参加実績・実現度)</p>
その他の参加	<p><b>障がい者との関連</b> 作業所等の障がい者の作品の売店(障がいに対する理解)/高齢者と障がい者が一緒にいられる演劇・歌</p> <p><b>ハード整備</b> 制約のあるハードをソフトでカバーできるか(どう評価するか)/コンセントは2箇所用意/人工呼吸器の設置/wi-fiを飛ばしてほしい</p> <p><b>事業全般</b> 継続的活動を見込める団体の底辺を広げる(次世代育成)/美術系・展示系の不足を事業(ソフト)で解決/参加機会の拡大(最初にセミナーに出なければならない等の制限を無くし、時間的に柔軟に)/アウトリーチで受身的なニーズにも対応(外でワークショップやレクチャースクール)/サイレントマジョリティーへの普及活動</p>	<p><b>小田原らしさ/地域特性</b> 埋もれた人材・既に出ている人材/非協力的な人の理解促進/歴史と文化の再発見、再発掘/商業との結びつき/ホール周辺の整備、回遊性を持たせて良いまちづくりに繋げる/箱根ジオパークに関する連続講座</p> <p><b>利用率</b> 施設の利用率をUPする施策</p> <p><b>飲食施設(カフェ)</b> 2～3年で運営者を変えるチャレンジショップとし、運営者はその後西湘地区で独立してもらう</p> <p><b>制度</b> 文化活動応援補助金制度</p>	<p><b>連携</b> 家庭裁判所少年部/箱根方面(芸者さんなど)/近隣の美術館との交流・連携(長期的に行えるシステムづくり)/商店街とコラボ</p> <p><b>情報</b> 情報発信の仕方を工夫/市のホームページに文化行事の予定を載せる/ホールのフリーペーパーの発行/専門広報誌の発行</p> <p><b>課題</b> 市民会館、けやき等の秋の文化祭等の利用状況を把握/市民参加の課題(行政責任の明確化、支配人の人材確保、有能な専任の運営責任者の確保、財政のバランスシートの提示)/劇場法の勉強会/多数派と少数派とのバランス(データだけで割り切れない)/市と使用者の負担の割合</p>